

笑う門には 福来る。



松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人：中村剛志

わがい

あなたに合わせる手を
だれにも合わせるまで
愛の心をおろそげ下さい
どんな私を苦しめる人をも
オベクをゆるすまで
広い心をお授け下さい

貞民

わがい

四十二から四十三歳の頃に書かれた詩で、第三詩集『かなしきのうた』に掲載されている。
随筆集『念ずれば花ひらく』の中で「その頃はわたしが一番生きるのに苦しんでいたときであった。毎日毎日が鉄錠でたたかれる鉄床のかなしみを、身に受けていた。そのために肉体も精神も弱った。それで仏陀に救いを求め、坐に専念した。(中略)この時は、そうした炎の中から生まれてきたものである。」と書いている。

坂村貞民記念館(砥部町)

明朗・愛和・喜働

身も心も清める

今朝は、どのような気持ちで洗面をしましたか。

朝起きたら顔を洗うという行為は、毎朝の習慣として、誰もが当たり前に行なっていることでしょうか。しかし、何のために洗い、どのように洗うのかということに深く知っている人は、少ないようです。洗面の意味は、全身を洗い清めるということです。日本には、全身を水で清める「禊」という風俗があります。これを簡略化したものが、神社での手水です。

洗面は、その日常生活版であると考えられています。単に眠気を覚ますだけでなく、心身ともに清めて清々しくなるためでもあるのです。

日本は、豊かな水に恵まれています。そうした自然の恵みにも感謝しつつ、明日からの洗面は、これまでより丁寧に行なってみてはいかがでしょうか。

一日の出発である朝に、身も心も洗い清めて、「さあ、働くぞー」と仕事に臨む気持ちを高めたものです。

新しい年、洗面で気を引き締めて、さわやかにスタートを切りましょう。

洗面を大切にしましょう



「職場の教養」より

宇和ちゃんの啖呵II短歌

ささやかな正月終へむ故郷で
貫ひし餅を食ひ終へし今朝

起こるはずないと思ひし奇跡さえ
かもしれないと母校の躍進

八木健さんの川柳アート



監視カメラを睨み返してATM
やぎけん

結女さんの松山ミクロン

数式に
神宿そらし
鍋談義

おでん鍋
僕とあなたの
必然性

愛は万物を生き育てる

愛は、太陽の如く、万物を抱き暖め、慈雨の如くこれを潤し
すべてを生かす。争いは一切を滅ぼす。

道しるべ